

[成果情報名] 長崎県におけるイチゴ新品種「こいのか」の収量性と果実品質

[要約] イチゴ新品種「こいのか」は花芽分化および年内収量は「とよのか」と同等で、果実の階級は2L・Lが40%以上である。

[キーワード] イチゴ、収量、果実品質

[担当] 総合農林試験場・作物園芸部・野菜科

[連絡先] (代表) 0957-26-3330、(直通) 0957-26-4318

[区分] 野菜

[分類] 普及

[背景・ねらい]

長崎県のイチゴ促成栽培に適し、「とよのか」に替わりうる多収性で、高品質・省力的な品種育成が求められている。

そこで、九州沖縄農業研究センターで交配・育成した系統を用い、早生性があり、年内収量が確保できる優良系統を選抜した（平成20年10月に「こいのか」として出願公表）。

選抜した優良系統について、長崎での品種比較を行い、収量性および果実品質について知見が得られたので報告する。

[成果の内容・特徴]

1. 「こいのか」の花芽検鏡に基づく定植日は、「とよのか」と同等で「さちのか」・「さがほのか」・「おおきみ」よりも早い（表1）。
2. 「こいのか」の頂果房1番果の成熟日数は「とよのか」と「さちのか」の間である（表1）。
3. 「こいのか」の年内収量は「さちのか」より多く、総収量は「さちのか」より若干多い（表2）。
4. 「こいのか」の3月以降の果実硬度は「さがほのか」・「さちのか」と同等で「とよのか」よりも高い（図1）。
5. 果実の階級は2L・Lが40%以上である（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 「さちのか」と同じ栽培管理を行うと、地上部の生育が旺盛になる。
2. 基肥を含む肥培管理・栽培管理は「さちのか」の基準で行っているため、「こいのか」に適した施肥体系での果房の連続性等を確認する必要がある。

[具体的データ]

表1 定植日・頂果房1番果の果実品質等(2007年)

	定植日	出蕾日平均	開花日平均	収穫開始日平均	成熟日数	硬度	先端Brix	全体Brix	酸度
こいのか	9月12日	10月14日	10月26日	12月6日	37.4	2.0	13.6	12.2	1.369
とよのか	9月12日	10月10日	10月22日	11月26日	34.0	1.7	13.1	11.4	1.386
さちのか	9月14日	10月19日	10月29日	12月20日	44.9	2.2	12.2	10.9	1.028
さがほのか	9月14日	10月10日	10月22日	11月25日	33.2	1.8	13.1	11.8	0.962
おおきみ	9月18日	10月24日	10月29日	12月15日	35.0	1.9	13.5	11.9	1.010

※硬度・先端Brix・全体Brix・酸度は頂果の値

硬度はAIKO RX-2 3mmφにて測定 1N=100gf 酸度はTOA酸度計にて測定 値は補正前の実測値

値は1月7日までの平均値

「おおきみ」についてはサンプル数が少ないため参考値

表2 各品種の月別収量

(g/10株)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	年内収量	総収量
こいのか	0	253	1101	403	588	2086	981	585	1354	5997
とよのか	0	302	1294	545	440	1278	1565	614	1597	6038
さちのか	0	15	904	687	690	1674	1440	427	919	5839
さがほのか	6	409	957	543	1303	1680	1512	1120	1373	7530
おおきみ	0	17	527	392	515	1879	971	367	544	4668

※値は2005～2007年の平均値

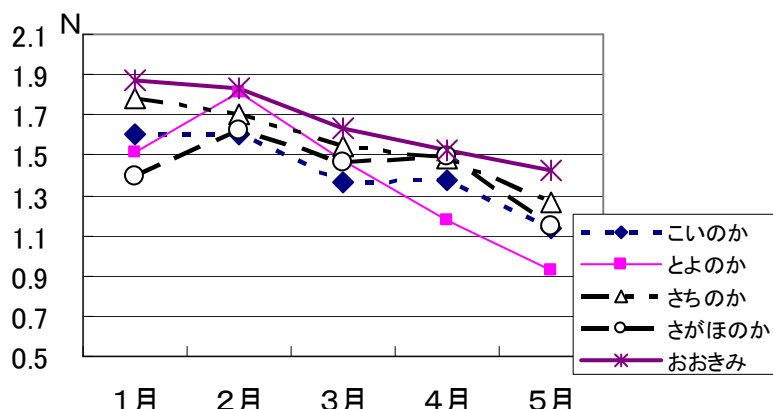


図1 時期別の果実硬度変化(2007年)

表3 現地試験における階級比率と収量

	3L	2L	L	M	S	A	C	色ムラ	傷み果	実数	10a換算(kg)
2006年	0.9%	17.3%	23.0%	22.5%	24.0%	5.4%	5.4%	1.1%	0.4%	100.0%	4063.4
2007年	1.3%	23.8%	31.9%	15.2%	8.9%	9.6%	6.4%	2.5%	0.5%	100.0%	3882.2

※諫早市 高来町 A氏圃場 地床・内なり 株間23cm 無電照

2006年無加温 2007年ストーブによる加温

耕種概要

(1) 供試品種：こいのか(高良6号)

対象品種：とよのか・さちのか・さがほのか・おおきみ(久留米59号)

(2) 栽植様式 長崎県型イチゴ高設栽培 株間20cm、1ベンチ2条植え(7200株/10a)

(3) 基肥 N-12.7kg、P₂O₅-10.9kg、K₂O-9.9kg/10a

(4) 規模 1区10株 3反復

[その他]

研究課題名：西南暖地におけるイチゴ促成栽培に適した優良系統の選定

予算区分：県単

研究期間：2004～2008年度

研究担当者：藤田晃久、野口浩隆

発表論文等：